

第二区候補者選挙公報

日本を守り、未来を拓く。

地方創生 心豊かな地域づくりを目指して

力強い経済政策で **景気回復・雇用を確保**

戦略的外交防衛政策で **国益の維持**

教育再生憲法改正で **誇りある国づくり**

地場産業の育成

- 外務副大臣の在職中から、山口県の日本酒PRを各国大使などに呼びかけ、やまぐち地酒維新の会に初めて各国大使が出席、新たな国際展開を行うなど、海外に輸出できる山口県の特産物・農産物のブランド化の促進
- 中小・小規模事業者の事業革新への支援・融資制度の確立
- 農林水産業の企業化の推進・農業後継者の育成・多面的機能の強化

地域をどう活性化するか

- エネルギーを地域で産出して地域で省エネする「地産地消」社会を目指す「次世代エネルギーマネジメント研究会」を発足
- 国道2号線岩国・大竹道路の事業促進及び国道188号岩国南バイパス南伸の早期事業化を図り、新たな道路ネットワークを構築する
- 岩国・大竹南バイパスの南下を促進して2号線との連結、188号線を繋ぐことによって、山口県東部の新たな道路網のネットワークを図る
- 岩国基地の安心・安全対策への取り組み

雇用の確立

デフレ克服と成長戦略の実施

- アベノミクスの経済効果を地場に波及させ雇用を生むシステムづくり
- 「戦略的投資・貿易立国」として新たな経済成長モデルへの構築
- 法人税減税など国際競争力に向けた整備

経歴 ■1959年(昭和34年)4月1日生 55歳 ■慶應義塾大学経済学部卒業
■住友商事株式会社 勤務 ■当選回数 参議院2回・衆議院1回
■経歴：外務副大臣、防衛大臣政務官、参議院沖縄・北方問題特別委員会委員長、自民党外交部会長

比例代表は「自民党」とお書きください。



自民党公認

岸 信夫

安倍政権の **暴走ストップ!**
力をあわせて **政治を変えましょう**

赤松よしおは提案します

「先送り」実施でなくキッパリ中止
「消費税に頼らない別の道」を

消費税
10%

今の不況は、自民・公明・民主が決めた8%への増税が原因です。消費税10%は「先送り」実施でなく、キッパリ中止を。

岩国基地

岩国基地の拡大強化は許しません
艦載機移駐反対、愛宕山米軍住宅ノー

沖縄県で「新基地建設ノー」の民意が勝利。「負担軽減」の名による艦載機移駐、米軍住宅建設など、基地の拡大強化は許しません。

上関原発

上関原発建設中止、再稼働ストップ
「原発ゼロの日本」へ

上関原発建設計画はキッパリ中止させます。「稼働原発ゼロ」はすでに1年2カ月。原発なしでも日本社会は立派にやっています。

アベノミクス

「格差拡大」の暴走ストップ
くらし第一で経済たてなおす

人間らしく働ける雇用のルールを。社会保障充実へ。TPP撤退、農業と中小企業の振興をすすめ、くらし第一の経済に転換を。

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない
憲法9条生かした平和外交を

集団的自衛権の「閣議決定」撤回。秘密保護法撤廃。紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みを提案します

●企業団体献金の禁止、政党助成金の廃止を

比例代表は

日本共産党 とお書き
ください

比例代表中国ブロックの定数は11。消費税増税、憲法改悪、原発再稼働をおしすすめる勢力で占められています。日本共産党の議席を回復させて下さい。



日本共産党

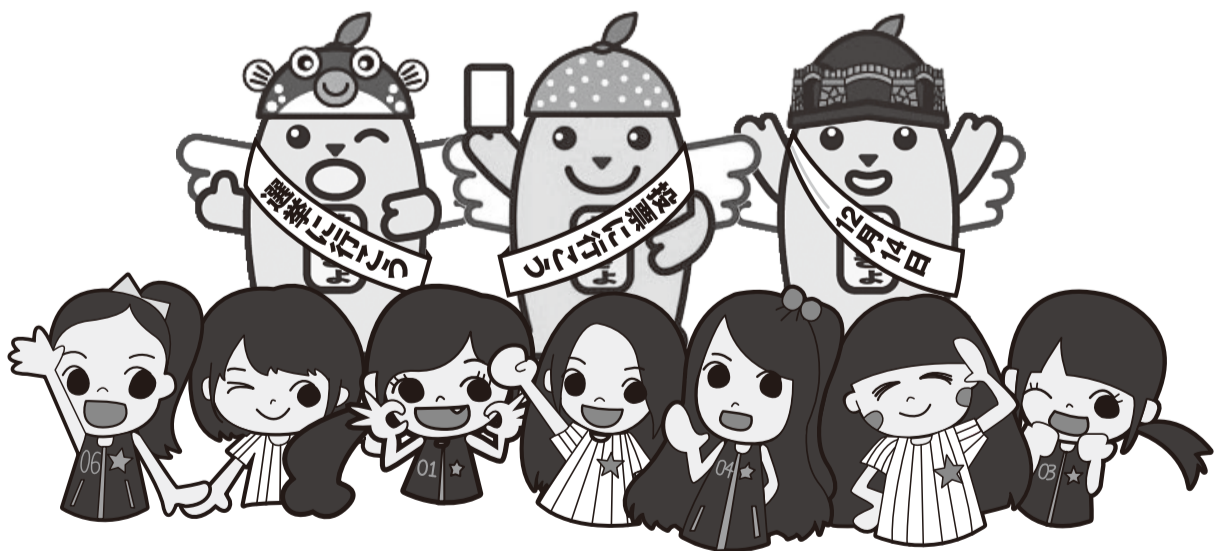
赤松よしお

【略歴】1954年田布施町生まれ、60歳。県立柳井工業高校卒業。平生町議2期。脱原発平生町民の会代表。党2区国政対策委員長。

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

12月14日



わたしたちが「地域を活性」します

山口県選挙管理委員会

今こそ、流れを変える時。

— 大義なき解散に真っ向勝負 —



民主党公認
元法務大臣

平岡秀夫

2年間の“安倍政権”がもたらしたもの。

それは大切なものが失われ、いま国民の間では生活に対する漠然とした不安感や絶望感が蔓延しています。

アベノミクスは、一部の大企業が恩恵を受けたものの、中小企業や地方、庶民の生活を苦しめていませんか?少子化や人口減少で将来消滅しそうな自治体は5割を超えるとされ、山口県の市町も例外ではありません。

「今こそ、流れを変える時。」です。

消費税引上げの延期は当然の帰結であり、700億円もの選挙費用をかけて国民に問う必要はありません。

かつての日本は分厚い中間層の活発な消費が経済を活性化していました。「一部のものを強くする一方で暮らしを置き去りにする」経済政策を変えなくてはなりません。

私は、岩国の農家に生まれ、育ちました。

ふるさとの代弁者として、地方の目線で生活者、働く者の立場に立った政治を行うことを誓います。

平岡秀夫に力をください。

平岡秀夫

アベノミクスからの転換。

- 1 経済のギャンブル化を阻止
- 2 増え続ける非正規雇用を阻止
- 3 傷んだ地方の立て直し
- 4 社会保障と税の一体改革
- 5 議員定数の削減

比例区は民主党

経歴

1954年岩国市生まれ、県立岩国高等学校・東京大学法学部卒業。1976年、大蔵省(現財務省)入省。2000年、衆議院議員初当選(以降5期)。内閣官房国家戦略室長兼内閣府副大臣、総務副大臣、法務大臣、衆議院法務委員会委員長を歴任。